



キナシ大林病院

# 地域連携室だより

2019年  
10月号

秋冷の候、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「地域連携室だより」を送付いたしますので、ご覧いただけましたら幸いです。

キナシ大林病院 地域連携室

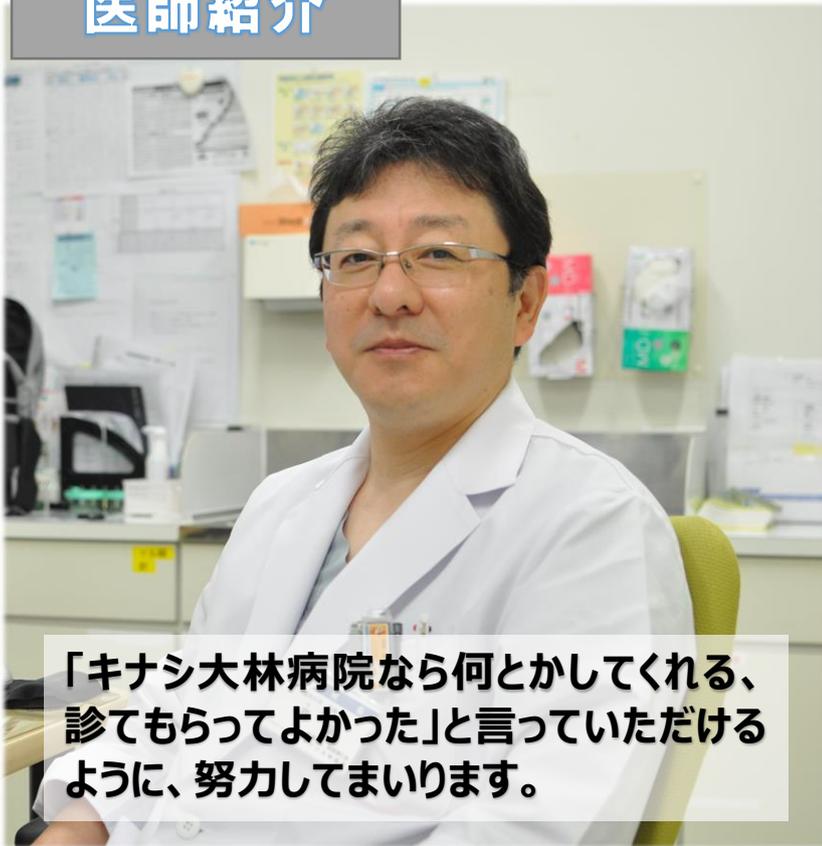
〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井 435-1

地域連携用 TEL 087-881-3676

医療相談用 TEL 087-802-6668

直通 FAX 087-882-3539

## 医師紹介



「キナシ大林病院なら何とかしてくれる、診てもらってよかった」と言っていただけで、努力してまいります。

入院中の患者さんには早く社会復帰ができるようにリハビリテーションを強化し、通院が困難な患者さんにはご自宅に医療を届ける訪問診察・看護・リハビリテーションを積極的に実施し“地元で最初から最後まで完結できる医療の提供”を目標に立てております。

今後とも皆様のあたたかいご支援とご助言をいただきたく心よりお願い申し上げます。

## 院長

真鍋健史 (マナベタケシ)

### 専門分野

整形外科

### 認定資格

- ・日本整形外科学会専門医
- ・日本骨粗鬆症学会認定医
- ・香川大学医学部 非常勤講師 (股関節・骨代謝グループ)
- ・日本体育協会公認スポーツドクター
- ・日本整形外科学会公認スポーツドクター
- ・運動器リハビリテーション医師
- ・日本医師会認定産業医

### 略歴

1998年香川医科大医学部卒。同大循環器内科・整形外科入局後、国立療養所高松病院、聖隷浜松病院(静岡県)、香川医科大学救命救急センターを経て、2011年から現職。2015年当院院長就任。



病棟カンファレンスの様子

## 連携実績

	紹介率	逆紹介率	紹介入院数		退院支援の状況					
			クリニック様からの紹介	病院様からの紹介	介護支援等連携指導料算定数	退院時共同指導料算定数	退院支援加算Ⅱ算定数	MSW介入患者数	退院患者数	
7月	23.4%	25.9%	17	24	22	7	7	73	143	
8月	26.0%	27.0%	15	20	15	6	3	90	163	
9月	%	%	11	14	17	5	8	69	131	

4階の地域包括ケア病棟は退院準備を目的のひとつに利用していますが、退院支援の報酬も包括されているため算定数に含めていません。MSWは3人がそれぞれ病棟をわけて担当していますが、合わせて毎月70~90名程度の患者さんの退院に介入しています。

## 第3回地域ケア懇談会を実施しました



2019年9月12日(木)18:30~20:30に実施し、院外26名、院内22名の方に参加いただきました。入退院の連携を行う上で気になる点を、病院側と退院側の双方が同じテーブルで直接相談することができ、非常に有意義な時間をもつことができました。実施後のアンケート結果を当院ホームページに掲載しますのでご確認ください。当日いただいた課題を院内で検討し、次回結果をお伝えいたします。

### 次回(第4回)のご案内

日時:2019年12月12日(木)18:30~20:00

場所:キナシ大林病院 3階会議室

申込:地域連携室までご連絡ください

内容:第3回で協議した施設での食事内容・退院前カンファレンスの有効活用・医療用SNSの活用方法等について。

### 部署紹介

## 内科外来

糖尿病や高血圧などの生活習慣病や、心不全や腎不全などの慢性疾患、また、循環器内科・腎臓内科・呼吸器内科・リウマチ内科それぞれの専門医師が連携して不調の原因を診断し対処法を見つけていきます。風邪・嘔吐・下痢などの一般疾患も幅広く診療を行っていますので、利用者や入所者、患者さんで体調不良の方がいらっしゃったら、地域連携室にご相談ください。内科スタッフで対応いたします。

地域の皆さんから頼られる病院となるよう内科スタッフも医師・訪問看護師・地域連携室と協力していきますので、安心してご来院下さい。



### 連携先医療機関様のご紹介

9月より連携先の医療機関様を当院外来にて掲示させていただいています。現在のところ当院との連携数が多くご了解いただいた以下の医療機関様を掲示しています。他の医療機関様もぜひ掲示させてください。ご連絡お待ちしております。

掲示医療機関様:

みねやまクリニック、山田医院、高松脳神経外科・外科医院、和田内科循環器科医院、山下医院、こくぶ脳外科・内科クリニック、藤澤眼科、牛山クリニック、中空医院、香西内科医院、宮武耳鼻咽喉科クリニック・タカオ整形外科医院(敬称略・順不同)

## 地域連携担当者より



藤澤孝雄  
7F病棟  
退院支援部門  
社会福祉士

先日他院を見学に行った時に「顔の見える関係」は古い。今は「腹の中が見える関係」づくりが必要と聞きました。まさしくその通りだと思います。当院の実情を踏まえながら、率直に説明させていただきます。



林幸代  
地域連携・  
退院支援部門  
看護師

地域ケア懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。皆様からたくさんの熱い思いやご意見をお伺いすることができ、私自身とても刺激になりました。これからはより良い関係を築き、連携をとっていければと思います。



田尾沙絵  
6F病棟  
社会福祉士

地域ケア懇談会にご参加ありがとうございます。貴重な時間を共有できたことがうれしかったです。日ごろから顔の見える関係を作ることでより一層スムーズで強固な連携が取れるのではと感じました。引き続きよろしくお祈りいたします。



稲毛ももこ  
5F病棟  
ソーシャル  
ワーカー

いつもお世話になっております。患者様の支援をさせていただく上で、外部との連携は外せません。ケアマネジャーさんや施設の方、福祉用具の方とは密に連携させてもらい、いつも助かっています。今後ともよろしくお祈りいたします。

